

第1号

令和8年7月1日

長沼中学校区学校運営協議会だより

発行者 長沼中学校長 松本 裕治

令和8年度第1回学校運営協議会開催

令和8年度学校運営協議会が5月11日（月）15時より須賀川市役所大会議室において、稲田学園や白方小学校学校運営協議会と合同で開催されました。教育長からあいさつをいただいたのち、運営協議会についての説明が行われ、その後、各協議会ごとに分かれ、長沼中学校区での話し合いを行いました。

はじめに会長・副会長の選出を行い、長沼中学校区では、

◎ 会長に元市議会議員 加藤和記 様、

○ 副会長に遊水会会長 深谷哲雄 様

が選出されました。次に長沼中学校、長沼小学校、長沼東小学校それぞれの校長から

①令和8年度学校運営方針について

②令和8年度教育課程について

③学校の取組について ④学校の課題についての説明が行われました。

また、(仮称)長沼義務教育学校への統合に向けて、

ア 開校スケジュール

イ 通学方法検討委員会について

ウ 校名・校章・校歌・制服等について エ 校舎配置図について、

オ 臨時学校運営協議会について市教育委員会の各担当者から説明が行われました。

その後、質疑・応答が行われ、運営協議委員からは統合に向けた具体的な質問が数多く出されました。特に校名については、児童生徒・保護者・地域などにアンケートを行うことを決定しましたので、その際には、どうぞご協力ください。

今後も定期的な開催(年3回)と臨時で開催される学校運営協議会が行われる予定です。学校運営協議や統合に対して、疑問や不明な点多々あるかと思えます。何かありましたら、運営委員や各学校、須賀川市教育委員会へご連絡をいただければ、運営協議会にて議題としてとりあげていきますので、よろしくお願いたします。



学校運営協議会とは？

法律に基づき、教育委員会が学校や中学校区毎に設置し、保護者や地域住民などの委員が学校運営の基本方針の承認や学校運営への意見を通じて、学校運営に参画する合議制の機関です。

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

これから、学校運営協議会での情報や学校統合の情報をこのお便りでお知らせします。

また、市のHPでも学校統合の話題を詳しく提供していますので右のQRコードからぜひご覧ください。



令和8年度長沼中学校区学校運営協議会委員は下記の皆さんです

No.	委員氏名	所属	備考
1	柳 沼 和 也	長沼小PTA会長	★
2	遠 藤 篤	長沼行政区・区長会長	
3	会長 加 藤 和 記	元市議会議員	
4	山 田 伸	長沼小校長	★
5	副会長 深 谷 哲 雄	遊水会会長	
6	太 田 滋 美	長沼商工会女性部長	
7	松 本 未 来	長沼東小PTA本部役員	★
8	齋 藤 敦	長沼東小校長	★
9	大河原 信 也	長沼中前学校評議員	★
10	森 合 康 太	長沼中前PTA会長	
11	松 本 裕 治	長沼中校長	★
12	和 田 友 加 里	長沼こども園保護者会役員	★
13	深 谷 久 美	長沼こども園園長	
14	齋 藤 美 歌	長沼東こども園保護者会会計監査	★
15	相 樂 由 起 美	長沼東こども園園長	

今後、(仮称)長沼義務教育学校の通学方法について、保護者や地域の声を反映するための通学方法検討委員会も設置しました。通学方法検討委員は★の方となります。

○今後のタイムスケジュール(案)です

(仮称)長沼義務教育学校 開校スケジュール(案)

施設名及び団体・機関	令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3		
小学校区内運動場増築	基本・実施設計		工事(建築・電気・機械)											
中学校区内運動場長寿命化	実施設計				工事(建築・電気・機械)									
中学校校舎改築(児童クラブ含む)	実施設計				工事(建築・電気・機械)							開校準備	開校	
学校運営協議会	【5月】 校舎(案)説明	【7月】 現地視察	【9月】 実施設計概要報告	協議・検討										
議会(文教福祉常任委員会)	【4月】 校舎(案)報告	【7月】 現地視察	【9月】 実施設計概要報告	【3月】 躯体増築工事議決	報告・説明									

○義務教育学校化を「前向きな変化」にするために

『令和11年度の義務教育学校化予定。』この一報を聞き、寂しさや不安を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、私たちはこれを『長沼の子どもたちに、より豊かな学びの場を創るチャンス』と捉えています。

第1回の会議では、委員の皆様から『子どもたちのために何が最善か』という熱い思いのもと、議論が交わされました。義務教育学校化までの数年間、今ある長沼中学校区の良さをさらに磨き、最高のバトンを次世代へ渡すための物語を、地域の皆様と共に紡いでいきたいと考えています。